

ちくま未来カフェ通信

08.01
No.002

編集 発行 / ちくま未来カフェ通信編集委員会 (千曲商工会議所・戸倉上山田商工会・千曲市) 本通信に関するお問い合わせ (千曲商工会議所) / 電話: 026-272-3223 メール: info@chikumacc.jp

特集 「土曜マルシェ」が開催されました!!



次回は
8/8(土)
午前9時~正午



屋代駅前エリアの秘めている、「人が集まる」潜在能力を引き出すような実験的な取り組みがはじまっています。その中の一つとして、7月4日に「土曜マルシェ」が行なわれました。今回は杏を使ったお菓子の試食販売や杏

ジャムの食べ比べなど、千曲市の名産品である「杏」がテーマ。マルシェ(市場)にはかかせない季節の生花や地域の農家さんが育てた野菜の販売もあり、駅を利用する方々を中心に賑わいました。次回は8月8日に開催です。

みそ汁を片手にカフェ気分

駅構内にある市民ギャラリーでは、稲荷山祇園祭を紹介する展示のほか、「まちなかキャンパス」の一環として、折り紙や寄せ植えの講座も行われました。来場者に人気だったのは、更級の高村商店の味噌を使った味噌汁カフェ! 気軽に楽しめる味噌汁を片手に、老若男女が入り混じり、ホッと一息つける憩いの場になっていました。



カップ一杯で気軽に楽しめる味噌汁



越洋子さんによる寄せ植え教室


地域に飛び出す高校生

イベントに華を添えてくれたのは、「桜苑隊」(おうえんたい) こと屋代南高校1年2組のみなさん。ゆるキャラの「あん姫」と「ヤシロウ」と一緒に千曲市の魅力を聞く街頭インタビューを実施しました!

現場の声をインタビュー!!


話して下さったのはこの方

▼



屋代南高校 1年2組
山口雅子 先生

授業で「まちにどんな恩返しができる?」というテーマを投げかけました。市外から通っている生徒も多く、すぐに自分のこととして考えるのは難しいことではあります。ですが、高校や通学に使う駅は千曲市にあるので無関係ではないですよ。そうした中でこちらのイベントへの参加希望者を募ったら、クラスの大半が参加してくれました! ゆるキャラは、中高生がまちに関わるための一つの入口になっていると思います。学校から飛び出すことで、まちのみなさんにも「元気をもらった」と喜んでいただけますし、また生徒が将来、社会に出る時の強みになります。これから生徒が卒業するまでに、どんなことができるのか楽しみです。



お知らせ

土曜マルシェの拡大版!!

\\ 続報をお楽しみに! /

「駅まちフェスティバル」(仮称) 9/25(金)・26(土)



まちと暮らしの最前線

千曲市を未来につなげる様々な取り組みに特派員が密着。取材を通して、千曲市のまちづくりの「今」に迫ります。

Q. 千曲市が進めている「中心市街地活性化基本計画」ってなんですか？

みなさんは「中心市街地活性化基本計画」という取り組みを聞いたことがありますか？ 一見すると難しそうな名前ですが、実は私たちのふだんの生活に密接に関わってくるものです。今後、行政の力

だけでは維持することが難しくなる「私たちの暮らし」。それを未来へとつないでいくために、この取り組みを通じて、暮らしの機能や文化などを守る基本的な場所を再構築していきます。既に県内で

は、長野市など4つの市がこうした取り組みを進めており、続いて千曲市も動き出しました。今回は事業を担当されている千曲市産業振興課に本計画の重要なポイントについて、お聞きしました。

※「千曲市中心市街地活性化基本計画」に関する詳しい情報は8月の市報に掲載しています。そちらも併せてご覧ください。

―― 計画づくりにむけて動き出した背景に、千曲市が今どういう状況があるのか教えてください。

千曲市は、ますます人口が減少し、空き家・空き店舗も増え、これまでのような仕組みのままでは日常の生活が不便になり、地域のコミュニティが保たれなくなると予想されています。一方で、市の税収も少なくなり、暮らしを助ける行政サービスを維持していくことが難しくなると考えています。

―― 人口減少の時代に見合った「まち」のあり方を考えていくために、中心市街地の整備がポイントになってくるんですね。

そうですね。既に役所や学校、病院、駅など暮らしに関わる拠点を含めたインフラ整備ができていないエリアを改めて見直すことが必要です。市民・民間事業者や行政が共にまちづくりを進め、必要な生活の機能充実、市民活動を盛んにすることで、これからのまちと暮らしを支えてくれると思います。

―― 「民間と行政の連携」が大きなキーワードになるようですが、具体的にはどんなポイントがあるんでしょうか？

計画の策定にあたって「中心市街地活性化協議会」を設置します。これは例えば、NPO や地域住民の方などが参加し、共に計画をつくっていくものです。千曲市を良くしたいと考えているみなさんの実感を入れ込みながら、できるところから進める計画倒れにならない取り組みにしたいと考えています。

―― 千曲市は、民間団体の活動は盛んなのですか？

実は、少し前まで千曲市の NPO 数は県内でも最下位だったんです。しかし、今ではNPOのみさんの活動も盛んになってきています。また、既に千曲商工会議所では地域の若い人たちを巻き込みながら、まちづくりの事業を進めていますよね。そういった動きとも協働していく予定です。

―― これまでのように、まちの将来を行政に任せきりにしたり、民間と対立させて考えるのではなく、それぞれが一人の千曲市民として一丸となって動いていくことが大切なんですね。

そうやっていければ理想的ですね。私たちも市の職員ではありませんが、まさに一人の千曲市民でもあります。極端な話ですが、例えば自分の子どもが大人になった時、千曲市という故郷が消滅してしまっていたらどうしようとも考えることもあります。これから人口は確実に減っていくでしょうから、今、動かなければいけないと痛感しています。もちろん、未来だけではなく、今の私たちの生活も大切にしながらではありますが、役割の違いとして、行政には行政の、民間には民間の得意不得意があります。そこを上手に補い合いながら、千曲市を未来につなげていく計画ができればと思います。



ワークショップのお知らせ



ちくま未来カフェ vol. 2

～千曲市の未来を考えるワールド・カフェ～

テーマ：「千曲市から戸倉上山田を考える」

開催日時

平成27年9月5日(土) 午後1時30分～午後5時

会場 千曲市役所戸倉庁舎4階 会議室3(千曲市大字戸倉2388)

参加費 無料

定員 20～30名(先着順)

対象 千曲市のまちづくりに興味関心のある方
申し込み

参加をご希望の方はFAXかメール、または電話にてお申し込みください。

- 1) 氏名
- 2) 連絡先(電話番号/FAX/E-mail)
- 3) 年齢
- 4) 性別

【送り先】千曲商工会議所

電話：026-272-3223 FAX：026-272-3633

メール：info@chikumacci.jp

【申込締切】8月28日(金)

主催 千曲市(事業受託先：千曲商工会議所)